

火 知っ得

木 ワクワク

全 安心

土 ハッピー

日 好奇心

水 美味しい

あわらの温泉は 無茶苦茶 おもしろい!

唯一無二の多様な泉質

あわら温泉にある「グランディア芳泉」で、若旦那をしている山口です。北陸新幹線の福井開通まで、あとわずか。あわら温泉にとっても新しい時代の幕開けです。「あわら温泉は無茶苦茶おもしろい!」と、今日も声を大にして叫んでいる私から、まずはあわら温泉の楽しみ方を紹介させていただきます。

大きな特徴の一つとして最初に紹介するのが「各旅館の源泉がそれぞれ違う」ということです。県民の皆さんでも「知らなかった」という方が意外と多いかもしれません。一般的に、温泉地では源泉を集中管理している所が大半です。しかしあわら温泉では、温泉旅館組合に加盟している十五の温泉旅館が全て異なる源泉から湯を引いています。

15の旅館 異なる源泉



源泉が異なるということ、お湯の温度や成分が十五パターン楽しめるということ。調べてみれば、あわら温泉だけで十五カ所の温泉地を巡ることができるといふことです。これだけ多様な泉質を



女将、若女将たちは「あわら温泉女将の会」としてPR活動にも積極的に参加しています。2月、あわら市舟津のグランディア芳泉で

山口 高澄(やまぐち・たかずみ) グランディア芳泉常務(若旦那)。日大卒、35歳。大手旅行会社を経て、2013年に家業の温泉旅館、グランディア芳泉に入社。16

楽しめる温泉は、全国でも唯一無二ではないでしょうか。温泉ソムリエの私には、その価値がよく分かります。

ちなみに当館グランディア芳泉は単純アルカリ性で、老若男女みんなに優しい泉質。別名「家族の湯」「美肌の湯」とも呼ばれています。

誰にでも優しい温泉。それがあわら温泉の特徴と言えるかもしれません。

次に、楽しみ方を一つ。訪れる前に、自分の「推しメン」を想定してみたいかがでしょうか。

あわら温泉の女将さん、若旦那さんからは、会うだけで元気がもらえます。さすが美人の湯の温泉地だけあって、(私はさておいて)美男美女の方がかりです。旅館ごとに規模やおもてなしのスタイル、社風は違えども、お客さまに喜んでいただきたいとの気持ちと同じ。それを象徴するのが、女将、若女将、若旦那、料理長、名物フロントスタッフなどです。

宿泊する前に、SNSやホームページで自分の「推しメン」から現職。妻で若女将の良子さんと、各種SNSであわら温泉の魅力を発信し続けるとともに、家庭では4人の子どもたちに囲まれ、子育てにも奮闘中。

「ん」を決めておき、旅館で会った時に声をかけてください。滞在がより楽しくなると思います。

例えば、まつや千千さんの伊藤理恵若女将。いつも元気で、会っただけで元気いっぱいになります。清風荘さんの伊藤康代女将は、そのお見送り姿に感動です。べにや旅館さんの奥村紘生若旦那は、私の後輩でありながら旅館での存在は先輩級。イケメンで上品な旅館の存在感を感じることもでき「ああ、旅館っていいなあ」と思えます。灰屋旅館さんの牧田知栄美女将は、なぜあんなにいつも着物が似合のかと優雅な気持ちになります。白和荘さんのフロント係、立尾友律恵さんは、笑顔がとてもすてきです。

この他にも、たくさん素晴らしい女将さんやスタッフさんがいて、とても「こころ」では紹介しきれません。次回以降も、できる限り紹介させていただきます。

すべてが簡略化の傾向にある時代。温泉旅館の「人」を知っていたら、温泉特有の「人の温かみ」が感じられること、請け合いです。

当館ももちろん女将、料理長、若女将、さらには若手スタッフと、みんなでお出迎えさせていただきます。大女将も健在。入社二十年の青木義男フロントシニアマネージャーは、社内では一番、お客さまファンが多いです。

今回は、以上二点を紹介させていただきます。次回もよろしくお願致します。

さあ、いっくぞ!

グランディア芳泉 山口高澄常務

